

この一冊を読めば、〈デザイン脳〉を
存分に鍛えることができる。

——佐藤卓 グラフィックデザイナー

〈デザイン・ジャーナリズム〉が、
もっと市民権を得ることを切望する。

——深澤直人 プロダクトデザイナー

デザイン・ジャーナリズム 取材と共謀 1987→2015

森山明子

これは森山明子によるデザイン・ジャーナリズムの実践。
三十年近くにわたる渾身の取材・執筆、その記録である。

画 川口起美雄

デザイン・ジャーナリズム 取材と共謀 1987→2015

著者 森山明子

A5 判変型・並製・384頁

本体 2800円＋税

発行：美学出版 2015年7月発行 ISBN 978-4-902078-39-8

昭和から今日まで、めまぐるしく移り変わるデザイン。デザインジャーナリストとして、その現場に立ち会った著者の執筆活動から八十本余りを厳選して編んだ一書。徹底して人間肯定の思考であるデザインは、その点ではニュートラルな技術とも、否定を契機とすることの多いアートとも異なる。こう考える著者がデザインとクロスする表現者も視野に入れ、変わるデザインと変わらない人間精神の相関、人の生を下支えするデザイン像に迫る。

著者略歴

森山明子 Akiko Moriyama デザインジャーナリスト、武蔵野美術大学教授

1953年新潟県生まれ。1975年東京芸術大学美術学部芸術学科卒業。特許庁意匠課審査官、国際デザイン交流協会勤務を経て、1986年日経マクロウビル社（現・日経BP社）入社。「日経デザイン」の創刊にかかわり、1993-98年同誌編集長。1998年から現職、デザイン情報学科所属。NHKハート展詩選考委員、グッドデザイン賞審査副委員長、芸術工学会副会長・理事、公益財団法人の三宅一生デザイン文化財団理事、日本デザイン振興会評議員などをつとめる。主著は『まっしぐらの花——中川幸夫』、『石元泰博——写真という思考』、『新井淳一——布・万華鏡』。

【主要目次】

序——日付のあるデザイン、日付のいないアート

I [Design History] 昭和デザインのパイオニアたち
河野鷹思、岡秀行、亀倉雄策、豊口克平、真野善一、
山脇道子、小池千枝、浦辺鎮太郎、石元泰博……

II [Design Journalism] 時代の諸相を描出する
デザイン批評における瀧口修造と勝見勝、
狂える時代の〈デザイン〉の水脈、
世界の中の日本のデザイン、デザイン思想の中のCUD、
サインデザインの視点、私の選んだ一品、
対談・柳宗理+三宅一生、デザインの二十一世紀へ、
デザイン・ジャーナリズムって何ですか？……

III [Design Culture] デザインカルチャー断章
卵と文庫本は似ている、何も無い空間のための家具、
内藤廣・未必の故意、うつわの時空の余白に…、
「新井淳一の布 伝統と創生」展に寄せて、
デザイン・ミュージアムって何ですか？……

IV [Design/Art/Sprints] 言語と視覚言語の交感
中川幸夫の〈天地創造〉、写真と写真集の理想、
人はどのようにして表現者となるのか、
岩絵具の粒子による「幸福」と「永遠」、
NHKハート展選評……

注 文 書

全国の主要書店・美術館等で求めいただけます。お急ぎの場合は小社HPからお申し込みいただくか、または直接メール・FAXにてご注文ください。

森山明子 著 『デザイン・ジャーナリズム 取材と共謀 1987→2015』を 冊申し込みます。 ISBN 978-4-902078-39-8

ご氏名	Eメール
ご住所 (〒 -)	
お電話	FAX

*弊社から直接ご購入いただけます（入金確認後、直送。送料は当方負担）。
HPから、またはFaxおよびメールにてお申し込みください。
折り返しご入金方法等をご案内いたします。

美学出版

Tel. 03-5937-5466 Fax. 03-5937-5469

e-mail: info@bigaku-shuppan.jp http://www.bigaku-shuppan.jp